

日光市文化会館等あり方検討市民委員会 議事録

| | | | |
|----|-----------------------------|-----|-----------------|
| 件名 | 第10回日光市文化会館等あり方検討市民委員会 | | |
| 日時 | 令和6年4月22日(月曜日)14:30 ~ 15:10 | 作成日 | 令和6(2024)年4月23日 |
| 場所 | 日光市役所東庁舎3階第4会議室 | 記録者 | 生涯学習課 北山誠司 |

出席者

| | |
|--|---|
| <p><日光市></p> <p>粉川 昭一 市長 上中 哲也 副市長 松本 孝 教育次長 鈴木 和仁 財務部長 土屋 栄 建設部長 斎藤 良介 生涯学習課長 北村 賢一 文化会館整備室長 河合 誠一 中央公民館館長 金子 憲一 資産経営課長 沼尾 政明 財政課長 登坂 和博 文化財課長 大島 正志 保育課長 小曾戸 英樹 子ども家庭支援課長 小菅 茂雄 都市計画課長 西宮 季幸 維持管理課長 佐久間 亮剛 課長補佐 建築住宅課 高野 充博 課長補佐 資産経営課 阿美 雅子 副主幹 中央公民館 小又 賢史 課長補佐 都市計画課 北山 誠司 副主幹 文化会館整備室 大貫 慎也 主査 資産経営課</p> | <p><出席委員></p> <p>高橋 満 (委員長) 和久 文子(副委員長) 庄田 哲康 小栗 卓 篠原 久生 宮脇 強志 大藤 美由紀 田中 実知世</p> <p style="text-align: right;">(敬称略)</p> |
|--|---|

議事内容

■配布資料

- ・次第
- ・新文化会館に関する検討と市の考えについて(資料1)

■議事録**委員長 あいさつ**

本日は、お忙しい中、当委員会にご出席いただきまして有難うございます。

本日の会議は、市から「新文化会館に関する検討と市の考え」について、市民委員会にお示ししたいとの意向があり、委員の皆様にお集まりをいただきました。

本日は、関係する部課長のほか、市長、副市長にご出席をいただいております。

当委員会は、前回の会議からは約3ヶ月ぶりの開催となります。

昨年10月の第8回会議では、建設候補地において、文化会館を建設するための法的制限の説明を受け、大きな課題に直面したことから、皆様から多くの意見をいただきました。

また、新文化会館の基本理念や諸室についてもご協議をいただきました。

今年1月に開催した第9回会議では、七里地区の洪水浸水想定区域について説明を受け、これについても、それぞれの立場からご意見を頂いたところです。

本日は、それらの課題も踏まえて、現時点での市の考えを、粉川市長からお示しいただける事となっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（司会）

それでは、市民委員会設置要綱第5条の規定により議事の進行を委員長にお願いいたします。

議長

委員長として議長役を務めさせていただきます。

まず現在出席をいただいております委員の数は、15名中8名で、定足数に達しており会議は成立しております。

本会議は非公開で開催をしておりますが、本日会議の議事録等については、前回同様、発言者を伏せた状態で公開されますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これより会議次第に基づき議事に入ります。

本日の議事は、（1）「新文化会館に関する検討と市の考えについて」の1件です。

新文化会館の建設については、これまで市民委員会や特別委員会から様々な意見がだされ、それらを参考に、市の方で検討を行っていただきました。

本日は、これまでの経緯を踏まえて、現時点での市の考えをお示ししていただけることとありますので、粉川市長よろしくお願いいたします。

市長

本日は、新文化会館に関する市の考えをお伝えする機会をいただきましてありがとうございます。

皆様方には、一昨年7月以来、市民委員会を9回開催していただき、検討を重ねていただいております。

また、その結果は議会の特別委員会に報告し、ご意見をいただきながら調査研究を進めてきたところです。

しかしながら、新たな課題が見えてきたこともあり、本日、市民委員会の皆様に現時点での市の考えをお示しさせていただきたいと存じます。

まず、建設候補地につきましては、今市文化会館解体後跡地と七里地内市有地の2箇所に絞り、メリット、デメリットなどを整理しながら検討を進めてまいりました。

さらに、財政的観点、利用促進の観点、まちづくりの観点に基づき比較検討を行い、令和5年11月の時点においては、新文化会館の建設候補地、及び複合機能についての市の考え方を、令和5年度内に示させていただく予定でございました。

その後、令和5年12月の特別委員会において、七里地内市有地における志渡淵川からの溢水による洪水浸水想定区域について、安全性に関し疑問があるところのご指摘をいただいたところです。

これに対し、市といたしましては、指摘された洪水浸水想定区域に関する対応は可能であるとの見解を保持しておりますが、特別委員会や市民委員会において、賛否両論様々な意見が噴出したこと、さらには、3月21日に行われた特別委員会の中間報告についても、重く受け止めなければならないと考えております。

こうした様々な意見を踏まえた総合的な判断といたしまして、加速度的に二者択一による建設の方向に傾倒するのではなく、ここは決定を留保し、暫く時間をかけ、まずは課題の整理や条件整備を行う必要があると考えているところです。

ここで少し立ち止まるという判断をさせていただきましたことを、大変申し訳なく思っております。

また、これまで多くの時間をかけて、活発な議論を重ねていただきました市民委員会の皆さまには、改めて感謝申し上げます。

事務局

引き続き資料の説明をさせていただきます。

市長からの発言について、4つの段階を経て「市の考え」に至りました事を、資料1にまとめたとところです。

最初に、「1. 建設候補地比較検討の経緯」についてご説明します。

これまで市では、今市文化会館、日光総合会館及び藤原総合文化会館の老朽化が著しいことから、唯一耐震補強済みの今市文化会館を活用し、将来的な文化会館のあり方を検討することとしてきました。

しかしながら、今市文化会館の老朽化が予想以上に進んでいることから、3館の集約による、新たな文化会館建設の早急な検討が必要となってまいりました。

これらを踏まえ、市民委員会及び議会特別委員会からご意見をいただきながら、当該施設の建設候補地として、これまで今市文化会館解体後跡地と七里地内市有地の2箇所に絞った比較検討を行ってきたところです。

なお、比較検討に当たっては、「財政的観点」「利用促進の観点」「まちづくりの観点」の三つの観点から考察してまいりました。

一つ目として、「財政的観点による考察」では、イニシャルコストの面では、長期的財政の視点から両候補地による大きな違いはないと考えます。

また、ランニングコストの面では、利用者の増につながる複合機能を備えることで、運営費用の圧縮を図ることを重視してきました。その手法として、民間活力の導入による運営費用の圧縮や、複合機能との相乗効果による収益性の確保を検討してまいりました。

二つ目として、「利用促進の観点による考察」では、市民の文化活動の拠点となる文化会

館機能と、市の内外を問わず多くの方々に訪れてもらえる複合機能、これらふたつの機能の相乗効果により、いかに利用者の増加を見込むかを検討してまいりました。

「考察の根拠」としては、「文化活動」「複合機能」「集客機能」の3点について、これまでの市民委員会において説明してきましたとおり、検討してまいりました。

三つ目として、2ページ目中段にあります、「まちづくりの観点による考察」では、七里地内市有地を建設候補地とする場合は、地域に新たな賑わいと活力をもたらすことが期待できます。また、今市文化会館解体後跡地とする場合は、中心市街地エリアに位置する高いポテンシャルを有しているため、将来の人口誘導に有利な多様性のある土地利用が期待できます。

次に、2ページ目下段にあります令和5年11月末時点での「2. 比較検討による市の考え方」についてご説明いたします。

これまでの比較検討なかで、2つの候補地にある課題については、解決に向けた調査・分析を行い、議会特別委員会や市民委員会へ説明を行い、意見を伺ってきたところです。

このような経緯を踏まえ、先程の三つの観点を基に、新文化会館の建設候補地、及び複合機能について、令和5年度内に市としての考え方を示させていただく予定でありました。

一方、3ページ目にあります、「3. 特別委員会から指摘された課題」では、12月の特別委員会において、七里地内市有地に近接する志渡淵川からの溢水の影響により、国・県が公表する洪水浸水想定区域にあたることから、新たな課題の指摘を受けました。

この件については、七里地内市有地が、洪水浸水想定区域にあたることで建築制限を受けるものではないこと、また、土地の傾斜形状から浸水した水の滞留が生じる可能性が低いこと、浸水に対する適切な対策をとることで、課題の回避ができることなどの説明を、特別委員会と同様に市民委員会に行っていました。

この件に関する市民委員会では、七里地内市有地について、特段の問題なしとする意見と疑問視する意見の双方が出されたところです。

最後に、「4. 現時点における市の考え方」についてご説明いたします。

建設候補地の検討を始めた段階において、2つ候補地の可能性を探りながら進めていたこともあり、各種課題の抽出を含め全ての条件整備を前提に進めてきたものではありませんでした。

このような中、今回のご指摘も含め、検討する過程の中で、後発的に出てきた課題もあったものと捉えています。

具体的には、今市文化会館解体後跡地における、興行場法による興行回数の制限や、七里地内市有地における、洪水浸水想定区域にあたることによる課題等が挙げられます。市としては、今回指摘された洪水浸水想定区域についての対応は可能であると、説明を行ってきました。

一方、特別委員会や市民委員会において賛否両論様々な意見が出されたこと、さらに、3月21日に行われた特別委員会の中間報告についても、重く受け止めなければならないと考えております。

また、前回の市民委員会で総合アドバイザーからは、「リスクの捉え方は人によって違うため、具体的な対策を検討しながら、議論すべきである」との助言をいただきました。

このような様々な意見を踏まえたうえで、早急に2つの候補地から1つに絞るのではなく、暫く時間をかけて、課題の整理などを行う必要があると考えたところです。

このため、今後は、必要に応じて、もう少し幅の広い関係者や専門家の意見をいただくことも視野に入れながら、研究をしていきたいと考えます。

なお、説明の中で触れました特別委員会の中間報告については、一部ではありますが、4ページ目に掲載してあります。

以上、資料1「新文化会館に関する検討と市の考えについて」の説明になります。

議長

只今、市から今までの経緯、ならびに比較検討による考え方など、現時点における市の考え方を示させていただきました。

ここで皆様からご意見を伺いたいところですが、粉川市長から市の考えを示していただいたので、ここは市の方針に従い、推移を見守る事としたいと思いますがいかがでしょうか。

A委員

私は、この会議を連続で3回ほど欠席しておりましたが、議事録は読ませていただきました。それで、最初から思っていたのですが、候補地が2つしかないところからスタートしたことが、ボタンの掛け違えになっているような気がしております。

今日、市長がおっしゃられたようなことを、私はこの場で発言しようと思っていました。ですから、市長には感謝を申し上げたいと思います。よくご決断されたと思います。このままどちらかに絞って進めていっても、絶対に良い事がないような感じがしておりました。ですから、私は、まるっきり市長と同じ意見であることを議長には知っておいていただきたいと思います。

議長

私も委員長として考えを整理してきましたので発言をさせて頂きたいと思います。

当市民委員会の役目ですが、当市民委員会は、市が検討している新文化会館の整備にあたり、市長からの重要な諮問を受けて答申するといったことではなく、あくまで市民目線から参考意見を述べるということで付託をされたものと思います。その意味でいうと、これまで各委員からも指摘があったとおり、整備する上での政策的な目的とか、財政面での可否とか、法律上の見解といった、根っこの部分について論じる立場にはないと認識しております。つまり、我々は、本来、整備決定後の設備の中身や使い勝手について、具体的アイデアを出したいというのが、本音のところだと思っております。

こうした中で、先程市長から、多くの課題が見えてきたことを踏まえ、加速度的に二者択一の方角でことを進めるのではなく、暫く時間をかけて課題の整理や条件整備を行いたいとの考えが示されました。私もこれに賛同いたします。

また、議会筋からも、資料にあるとおり、安全性や人口推移、利用者数、過度な財政負担などを考慮し、慎重に進めるべきとの提言がなされたようですが、ここまでに2個所の整備予定地が示されましたが、それぞれに課題を抱えていることが明らかになった以上、このまま進めていっても一つに意見集約することは実際問題として難しく、禍根を残すことにもなりかねないと思います。

ここは、一旦立ち止まり、慎重に検討すべきであるとの趣旨だと思われれます。

私からも前回の会議では、「災害の恐れがある場所は避けるべき、一度立ち止まって検討

した方が良い」と発言させて頂いた経緯があります。

これを受け、委員長の立場から言わせてもらおうと、当面は、市の今後の方針が示されるまで、ひとまず委員会としての役目に区切りをつけるべきだと考えております。今後、様々な角度から市と議会とで整備についての検証を重ねるといふのだから、我々は、まずは、それを見守っていければ宜しいんじゃないかと思えます。

なお、検証にあたっては、別の場所の検討も考慮していただく事を要望しておきたいと思えます。

また、これは個人的な意見で、言いにくい事でもあるのですが、議会の指摘も踏まえると、今後の市の人口減少が見えている中で、50億とも60億とも、ひよっとするとそれ以上の財政負担を伴う巨大な施設が、果たして必要なかどうかといったことも、この際、改めて考えるべきだとお話しておきたいと思えます。

なお、課題が多いニコニコ本陣の活用方法もどのようにしていかなければならないかを再検討していただきたいです。

一旦は整備の方向で決定されたとは思いますが、市としても、これだけの巨大な事業では、悩みや見直しが生じて当たり前であると思えます。新たな課題が出てきた以上は、状況によってはゼロベースといった考えも全面否定しないで検討して欲しいです。あくまでも私が今申し上げたことは、総合的な考えとしてまとめ上げたことなので個人的な意見という事で受け止めて頂ければと思えます。

B委員

「市民委員会から何を抽出したいか」というところが、今一つ明確じゃなかったと思えます。

三地域の文化会館運営の方々、芸術関係の方々、私は商工会議所から来ておりますが、市民としてどういうホールが使いやすいか、どんなホールであればこんなことができるのか、例えば、「ニコニコ本陣のホールだけでは、これができない」とか、「こういったホールが市民は本当に必要なんだ」というような意見を抽出してまとめていただき、それを財政面や立地的な部分とすり合わせた上で、実際に可能かどうかを検討していただき、「頑張ってここまでなんとかできるようになりました」とか、そういったやり取りを続けながら進めた方が良かったと思えます。

市民委員会の中で、いくらかかるかなどの財政面のことや、法的制限に関する立地的な条件を言われても、市民レベルだとなかなか分からないと思えます。

市民会議としては、やはり「市民として必要なホール機能に絞って意見を聞いていただけたら、すごく良かった」と思えます。

議長

今後、「この市民委員会をどうしようか」ということがあると思えますが、市では、「暫く時間をかけて課題の整理や条件整理を行いたい」とのことですので、ある程度、市が方向性を見出ししていく中で、改めて再開という形になるものと思っております。このまま市民委員会を進めようとしても、これ以上進められないものですから、そんな方向のご提案をしておきたいと思えますが、いかがですか。

B委員

この市民委員会を一旦閉めるという話になっても、委員の皆様から色々と要望みたいなどころを出していただいたので、「この市民会議では、こういった意見が出ていました」というところを一度まとめていただきたいと思います。

私達もそれほど暇ではなく、時間を割いて出席しているので、「行き詰まったので、少し休止になりました。また改めてやります。」という話になると、ちょっと寂しいと思います。

それぞれの立場の方からいただいた様々な意見を、有効に活用できることがあると思いますので、これまでの意見を一度まとめていただいて、この委員会の成果という形でお示ししていただければすごく嬉しいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

議長

只今、A委員が言われたように、これまで皆様からいただいた意見は無駄にはできないと思います。今は、候補地をどこにするかが一番の問題なので、これまでの市民委員会の成果については、事務局にまとめて頂けるようお願いしたいと思います。

今後進めていくにあたっては、新たな段階から進めるのではなく、これまでの経緯や皆様からの意見を基に進めていく事になると思います。

文化会館を造るという意見が強いなか、私も大変心苦しいのですが、ゼロベースで検討することもあるのだと思います。これはあくまで、私見です。

造る造らないを再度検討する余地があるのかなと思います。50億、60億というお金をかけることがいかなものなのか、場合によっては、ニコニコ本陣を色々な手法でもっと手を入れれば活用できるのかどうか。ただ、座席数が400席という課題がありますので、それを踏まえて再検討するためにここは大きな転換期として、一息入れることになったのかなと思います。

C委員長

本日、この資料を見てビックリしております。先程、委員長から「ゼロベースということもないわけではない」というお話をお聞きして、「ちょっとそれはないんじゃないですか」と思いました。それが個人的な話としても、一度立ち止まるということは、文化活動において非常に支障をきたすことになることを考えていただきたい。文化活動でまちづくりを推進している今市としては、「速やかに色々と調査をしていただいたうえで新文化会館を造り、後世に残していただきたい」というのが私の本音でございます。例えば、今、ニコニコ本陣を造り変えて40年、50年使っていくうえで、400席のキャパでやっていけるわけがないですし、やはり教育活動、子どもたちの鑑賞教室など、様々な行事等を行うにおいて400席ではとても足りません。日光市は、世界遺産がある世界的な都市です。日光にも藤原にも文化会館がなくなってしまい、唯一今市に残っております。この今市文化会館を老朽化の進行が予想以上に進んでいることを前面に謳っておきながら、「これを壊して400席のキャパで収めてください」というのだけは、お願いですから、もう1度考え直していただきたいと私は思っております。

ただ、「絶対に大きい会館を立てる」という大前提の中で、ニコニコ本陣を活用することは賛成でございます。ニコニコ本陣の視察を行った後に、色々と必要な検証をしてないと思

います。ニコニコ本陣を実際に使うとなると、駐車場の問題、控え室の問題、音響の問題、いろんなところで問題が山積みです。それらをしっかりと検証していただきたいと思っています。

市長さんのお考えのとおり、慎重に検討していただき、良いものを造り上げてほしいと思っています。子どもたちの未来のために、良い建物ができることを私は望んでおります。

議長

私なりの意見を申し上げ、またA委員、B委員、C委員からそれぞれ意見をいただきましたが、市民委員会としては一度ここで一息入れてお休みというかたちを取りたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

市では、文化会館整備に関する様々な課題に対し、色々な観点から時間をかけて調査・研究を進めていくと言っております。そのため、市の方から「これでいく」という方向性が示されないと前に進めないと思います。また新たな場所と言っても、その場所を探すために時間がかかります。

今市文化会館は、老朽化が進み今にも壊れそうな状況です。このままですと、使えなくなる状態になることもあると思いますが、そうなった場合の対応は、市が行ってくれると思いますし、何か不便な事が出た場合は、いろんな面で市の方にご相談していただきたいと思います。「子ども達が使えない場合はどうするんだ」という意見も出てくるかもしれませんが、一つの例として、鹿沼市や宇都宮市から施設を借りるということも出てくるかもしれません。現状では、そういった事態がいつ起こるか分かりませんので、様々なことを想定した検討が必要になってくると思います。

そんなことで、どうでしょうか。一応、委員会としては一旦ここでお休みするということで、また新たな段階になった時に、再開の要請があれば、皆さんの今まで培ったものを大事に活かしながら市が示す方向に基づいて色々なご意見を伺い、市民委員会としてまとめていきたいと思っています。

皆さんどうですか。よろしいですか。よろしいですね。それでは、「市民委員会としては一旦ここでお休みする」ということとしたいと思っています。

B委員

1点だけ、色々な条件がありますし、アドバイザーからも「捉え方は人それぞれ」というような話もあったと思います。すべての条件を100点目指した文化会館なんて絶対できないと思うので、どこかは我慢しなければならないところが必要だと思います。市民委員会の中でも、「1000人規模以上のホールは必要だよ」という意見がありましたが、「1000人規模は難しいけど800人規模までだったらなんとかなる」みたいなところで、そういう折衷案などで、我慢しなければならないところは我慢する、目をつぶらなければならないところは目をつぶらなければいけないと思います。このような大きな建物を建てる時に、8万人が満足するような文化会館なんて絶対できないし、財政面を考えると、100点の文化会館を造って、後々「それ見たことか」と言われるような財政状況になってもしかたがないので、そういったところを、うまく精査していただきたいと思っています。

「慎重に」ということもあります。私は、「慎重に」というよりも「早急に」という方がすごく強いです。今の文化会館は数年後には使えなくなります。そうなった場合に、子ど

もたちのこともそうですし、何かのチャンスの時に「日光市にはホールがないから」というような話にもなりかねないので、「慎重かつ早急に」というところをぜひお願いしたいと思います。

市長

冒頭にもお話を申し上げましたが、まず、皆様には、たくさんの意見をいただいていたにもかかわらず、「少し立ち止まる」という判断をせざるを得なかったことに関しましては、再度お詫びを申し上げたいと思います。

今、議論の中にもありましたとおり、今市文化会館も非常に老朽化が進行しているということがございまして、その点、なるべく早く新しい施設ができればという思いがあり、少し急いだというところは否めなかったかもしれませんが、「将来の子どもたちのために」であるとか、「文化活動を停滞させないために」という思いで少し急いだところは皆さんにもご理解いただければと思っております。

そして、財政等のお話もありましたが、少子化が進んでおりまして、将来的な人口の推移は間違いなく減っていくことが目に見えております。

加えて、ご承知のとおり、物価高騰や人件費の高騰というものがございまして、こちらも少し歩みを急いだ原因の1つでもあるのですが、日1日と言いますか、1ヶ月先の建設単価もいくらになるかもわからない状況もございまして、こうした時代の流れや変化が激しいタイミングでもございまして、これらも少し関係しまして、今回は少し時間をかけていろんな面で整理をさせていただきたいと思っております。

特に2個所の候補地については、議会の特別委員会と市民委員会の皆様とご協議をしながら絞らせていただいたところではありますが、こういうものも含めて、これから少しお時間をかけさせていただいて、今までいただいた皆様からのご意見を無駄にしないように、これから取り組みをさせていただきます。

ただ、先ほど申し上げたとおり、今の時代の流れが大変速くなっておりますので、そういうものも踏まえて慎重にこれから再度検討をさせていただいて、また皆様のお力添えを頂くことがあるかとは思いますが、その節にもぜひ皆様のお力添えを賜りますようお願いをいたし、最後に一言申し上げさせていただきました。ありがとうございました。

D委員

「暫く立ち止まって考える」ということですが、それが4年先か、5年先か、6年先か分からないので、考えがまとまらないです。その間、今市文化会館が使えるのか。使えなければニコニコ本陣を使うことになるのですが、「果たしてそれでいいのか」という考えもあります。今まで市民委員会で意見交換してきたことが、「ゼロベースになってしまうんじゃないか」という考えもあります。

候補地については、「2個所のうちどちらか」ということだったのですが、これも「第3の候補地、第4の候補地という事もあり得るんじゃないか」という考えもありますので、4年や5年で結論が出るかどうか非常に迷っていて、私自身は、「どうなるのだろうか」と心配しています。今まで市民委員会で色々と意見を出してきたことが、何だったのだろうと私は考えています。

財政面や候補地の関係で10年先でも20年先でも構わないのですが、それであれば、最

初からそう言ってもらえれば、この意見交換の中で意見を出しようがあったと思っています。

議長

今、D委員がおっしゃったことは、確かにそのとおりだと思います。

今市についても、七里についても様々な課題がありますので、課題を一つ一つ検証しながら早急に物事を進めていただきたい。

新たなところで造るという方向性になれば、色々な形で調査をし、場所の選定をすることになると思います。日光市の職員は力が有りますので、色々な課題を解決してくれると思います。何年も先にはならないことに期待を込めて、改めてお願いしておきたいと思います。

以上で本日用意された議題については、終了いたしました。

議事進行にご協力いただきありがとうございました。

(15時10分終了)

以上、本議事録の内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

令和6年 4月 26日

議事録署名人 田中 奥知世

議事録署名人 小栗 卓